



## 隠 蔽

「不都合な真実」は上層部に上がり辛いのは、何処の世界でも同じなのかもしれないが、事件の度に「あったことは、無かった事にはならない」と言った人を思い出します。中日新聞の記事（6月14日）が出ると、県庁の知人から電話がありました。「伊藤哲さんの事件があったのに、岐阜市は反省しないね」と言われました。

14日、市役所記者クラブで市民生活部長と人事課長等の記者会見が行なわれるまでに1年を要した。中日新聞によれば昨年4月に配属された被害者は、すでに6月からセクハラ被害にあっていたと報じられています。が、記者会見での資料には経緯欄は昨年の11月15日からしか記載がない。この事案では、特に職場で事件が発生してから顕在化するまでに1年を要している事の原因が問題視される点と思われます。

### 部長・課長は4月で人事異動

毎日新聞の写真（15日）には3人の顔が掲載されています。手前が行政部次長（人事課長）中央が市民部長、右奥が市民部次長（市民課長）ですが、人事は今年の経過を把握したのは相当後のようです。部長は、本年4月に人事異動で任に付いたばかりで、自身が説明を求めたいくらいだろう。十分な説明は出来るだろうか？ 当該職場の所属課長（市民部次長）は4月に人事異動で配属されたが、その前も市民部次長であり最も詳しいと思われる。が何故か、本年に前課長（現在も市民部に在籍）と入れ替わっている。

### ハラスメントの相談窓口は3箇所と人事課長の説明

人事課によれば、ハラスメント相談窓口は人事課、職員厚生課、労働組合の3箇所との事です。人事課長に相談員から報告があった件数は、平成28年は13件、平成29年は4件、平成30年（昨年）は7件で、セクハラ件数は平成30年に2件と報告されていると。

問題の事件では被害者が、昨年2人から被害にあっているとのことであるが、（平成30年の2件は、2件とも14日に記者会見された事件とは、別の事件。）令和元年になり3人目の加害者が出現し、被害者が退職を決意することになったと思われます。

迅速な報告と昨年に速やかな人事異動が行なわれていれば結果は違っていたかも。そして、ハラスメントの研修は全職員が受講しているはずだが？ ただ、委託会社職員には救済窓口の存在を就職時に説明されていないようであり、それは委託会社にすら説明されていないと思われ、同一職場で共に働く労働者への思いやりの感覚は伺えない。

# セクハラ対策 今後は

加茂郡川辺町長への問責決議可決の報道（岐阜新聞6月15日）がある。昨年8月に男性職員が女性職員を小型カメラで庁内で盗撮した事件の報告が、町長の初動対応不適切や議会報告の大幅な遅れ（10月に報告）などを「議会軽視」と指弾と報道されている。

岐阜市の事例は1年前である。柴橋市長は「一層の意識改革」を囑るとコメントされていますが、もし、管理職の「保身意識」が「情報の隠蔽」を生んでいるとすると、病状の根は深い。

ダウン症の  
赤ちゃんの  
保護者へ  
子育て手帳  
県知事から  
回答頂く



松原のりかず  
☎058-253-2500

松原 徳和様

令和元年六月吉日

岐阜県知事

ま っ せ

敬具

拝啓  
初夏の候、松原様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、子育て支援施策にかかると、貴重なご提言をいただきまして、誠にありがとうございます。子育て環境の整備や福祉の充実など市民が暮らしやすいまちづくりに取り組まれている姿勢に感銘、共感を受けた次第であります。

ご提案いただきましたダウン症の赤ちゃんの保護者向け子育て手帳「+EBOOK」しあわせのたね」につきましては、さっそく県で購入し、希望される皆様の手渡すよう、準備を進めていくところです。

今後も引き続き、県民が安心して子どもを産み育てることができる岐阜県づくりに取り組んでまいりますので、お力添えを賜りますようお願いいたします。

末筆となりましたが、松原様の益々のご多幸とご活躍を祈念いたしまして、まずは書中をもって御礼のご挨拶とさせていただきます。